

第5章 学識経験者の所見

平成26年10月28日

学識経験者 笠井 恒美

平成23年3月に阿波市教育委員会において、阿波市第1次教育振興計画が策定されています。教育ビジョン(基本構想)は、平成23年度から平成32年度までの10年間となっています。推進計画は前期が平成23年度から平成27年度の5年間、後期が平成28年度から平成32年度の5年間となっています。

基本理念は「未来をつくる力 たくましく生きる力 郷土を愛する力」で、基本目標は「人が輝く まちが輝く 未来が輝く(阿波の人づくりプラン)」です。

そして、教育目標は次のとおりとなっています。

- 1 知育・徳育・体育・食育を中心に、夢を実現する基礎的な力が育つ環境づくり(学校教育)
- 2 主体性を尊重し、人間性と創造性を発揮する環境づくり(生涯学習)
- 3 健康で気力あふれる人が育つスポーツ環境づくり(スポーツ振興)
- 4 郷土を愛する心と創造力が育つ、新しい歴史と伝統を生み出す環境づくり(芸術・文化振興)
- 5 生命の尊重と真摯に生きる力が育つ環境づくり(青少年健全育成)
- 6 国際感覚豊かな人が育つ環境づくり(国際交流)
- 7 他者を尊重する心が育つ、平和で豊かな社会づくり(人権教育)

以上、教育振興計画が策定されたことは高く評価でき、敬意を表します。

教育振興計画に基づいて所見を述べます。

(1) 学校教育の推進

学校施設の整備は南海・東南海地震が迫る中、児童・生徒が1日の大半を過ごす場であり、災害発生時の避難場所の役割を果たすことから、柿原小学校校舎、八幡小学校校舎、市場小学校校舎、林小学校校舎の地震補強・大規模改修工事を実施され、多目的トイレ、スロープ、エレベーターの設置を行い、バリアフリー化も図られ、小中学校の耐震化率が98.3%(24年度83.1%)となったことはたいへん評価できます。4小学校(久勝・伊沢・一条・土成小学校)の音楽室空調機器購入について、音楽教育環境整備が進み評価できます。

就学前の幼児教育では、八幡幼稚園・八幡第一・八幡第二保育所の一体施設が平成26年3月に完成し、一条校区の幼保連携施設の計画が進んでいることはたいへん評価できます。幼稚園の春休みの預かり保育が充実したことは評価できます。認定こども園が開設され、4・5歳児の幼稚園での2年保育の完全実施が推進されるよう期待します。

新給食センター建設工事が実施され、平成26年度供用開始されることはたいへん評価できます。地産地消の推進、学校給食センターと学校が連携しての食育の推進

に期待します。

(2) 生涯学習の推進

文化振興のための阿波市文化協会等への助成、生涯学習各種講座の開催、公民館活動、公民館での各教室の活動、市内図書館4館指定管理契約は評価できます。

超高齢者社会に向け、生涯学習各種講座の自主活動・自主運営、指導者育成が課題と思われます。講座を3年続けると自主運営していただくよう検討されることを期待します。今後、参加者が固定化されないよう充分配慮していただきたいと思えます。

(3) スポーツ振興の推進

阿波市ジュニア駅伝、阿波シティマラソン、総合型地域スポーツクラブ活動補助、チャレンジデーは評価できます。徳島駅伝については練習会等が開催され、平成26年の成績が12位になったことは、関係者の努力をたいへん評価いたします。今後は8位入賞を期待します。阿波シティマラソンがハーフマラソンに格上げ実施されることに期待しています。体育協会所属の各協会・連盟、総合型地域スポーツクラブ(吉野・土成地区)が自主運営されていることは評価できます。阿波西スポーツクラブが設立準備されることを期待します。

“市民ひとり1スポーツ”を目指し、スポーツ推進委員、体育協会等と協力し、市民の健康づくり、体力づくりに取り組んでいただきたいと思えます。

阿波体育館地震補強工事、土成小学校運動場照明改修工事が実施されたことは評価できます。今後とも体育施設の点検・改修工事を計画的に実施されることを期待します。

(4) 芸術・文化振興の推進

文化財専門職員の増員が緊急の課題と思えます。学芸員資格を有する職員を配置し、埋蔵文化財の発掘、土成歴史館・市場歴史民俗資料館の資料整理、企画展実施を検討していただきたいと思えます。土成丸山古墳・北岡東古墳・秋月歴史公園等の史跡維持、御所神社・案内神社獅子舞補助は評価できます。今後、尚一層の埋蔵文化財の発掘、保存に努めていただくことを期待します。

(5) 青少年健全育成

成人式、青少年健全育成講演会、剣山夏山登山が実施されたことは評価できます。青少年育成センターを中心に青少年自立支援に取り組んでいただきたいと思えます。

(6) 国際交流

外国語指導助手(ALT4名)の配置、小学校英語活動、ALTによる英会話教室の実施は評価できます。今後、阿波市内在住の外国人や就労している外国人との交流拠点の場が提供され、国際交流活動の促進が図られることを期待します。

(7) 人権教育

人権ふれあいフェスティバル、心のリフォーム学級、人権問題講演会は評価できます。一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けて、地道な取り組みを期待します。

平成26年10月28日

学識経験者 吉本 憲二

はじめに

4町が合併して阿波市が誕生して以来、関係者の多大な努力のおかげで、阿波市の教育状況は全体的に見て良好にきていると感じていた。そのような流れの中で、平成23年3月に「阿波市第1次教育振興計画」が策定されている。この度の、教育委員会の事務に関する点検・評価については、上記振興計画で策定した「5年間の主要事業」全124事業が対象となっている。

124もの数多くの事業を実施し点検・評価する作業は大変なものであったことが推測される。関係者の皆さんの努力には心から敬意を表したい。そして、点検・評価した結果を次年度の施策に是非生かしていただきたい。

1. A評価の事業について

124事業の中にA評価が12ある。その内、「学校施設の耐震化工事の完了」、「図書館指定管理者制度によるサービスの向上」、「図書館情報システムの統合による利便性の向上」、「不審者対策等での地域全体での連携強化」、「防犯教室の実施」、「生涯学習諸講座の充実」、広報『阿波』によって学習情報を提供する「年間計画の作成」等の事業については、成果が特に顕著にでていると思える。「阿波市学校給食センター建設」では近隣にはないような最新の立派な施設・設備が整い、子どもたちが給食を待ち望む姿が想像できる。施設設備が十分に生かされ、おにぎり等の子どもが喜ぶメニューが増えることを期待したい。また、新センター稼働に伴い、新たに生じるであろう学校現場の問題にも充分に対応していただきたい。

2. B評価の事業について

B評価の事業の中にも、よく努力できているものが多数あると感じている。学校教育では、早くからパソコン教室に1人1台のパソコンを配備する等「教育設備の充実」。朝の読書活動、ブックリストの作成等の「読書活動の充実」。すべての中学校で職場体験学習が実施される等「各学校における体験活動の充実」。手間のかかる作業であるが市内全ての小学5年生中学2年生を対象に「体力調査の実施・活用」。小学3年生を中心に阿波市の名所・旧跡めぐりを実施する等「芸術・文化活動の充実」等である。社会教育では「競技力向上支援事業」がある。徳島駅伝の順位のみで評価されがちであるが、関係者の努力は並々ではなく頭が下がる。徳島駅伝については、そのあり方自体を見直しても良いと思うが、すぐには実現しそうにない。関係者の苦労は続きそうだ。

3. C評価の事業について

C評価の事業が18ある。C評価の事業をB・A評価へと変えていく努力は当然求められるが、より緊急性のある必要度の大きなものから順次取り組んでいただきたい。

スポーツ施設の整備充実・有効利用の中の「管理運営方法の検討」はC評価 であり、指定管理者制度の導入を模索・検討中とのことである。図書館運営で効果を上げているように、この方向で努力していただきたい。

一方では社会の急激な変化の中で、次々に新たな教育課題が生まれている。例えば、少子高齢化の中で、時代を背負う子どもたちの体力や運動能力の低下が問題となっている。特に阿波市内の子どもたちの数値は低い。しかし、この問題も学校に任せるだけでは解決できない。「幅広いスポーツ活動の普及促進」施策の中のマラソン、チャレンジデーなどの発展的見直しのところはC評価で「改善の余地が多い」となっている。そこでこの際、全家庭に縄跳びの縄を配布し奨励するのはどうだろう。お年寄りから子どもまで誰でも気軽に簡単にできて、スポーツとしても奥が深く大会もある。「誰でも何処でも気軽にできる」「みんなでできる」をキーワードに考えてみるのも良いと思う。学校でもいろいろな取り組みをしてくれているが、さらに工夫をしてみたい。あれもこれも学校に依存して、ますます学校を多忙化させてはいけなさと知りつつ、子どもの体力・運動能力低下が顕著な中、早い段階での対応として、保育所、幼稚園、小学校に、運動の楽しさを体感させる機会を増やしてほしいと願う。中学校の部活動が体力・運動能力向上に果たしている役割は極めて大きいですが、やりすぎると弊害も出るので、これ以上を部活動に期待すべきではないし、塾との関係からも多くは期待できなくなっている。

おわりに

かつての同和教育の中に「一人の百歩より、百人の一步」という合い言葉があった。百人が同じ方向を向いて進めば、百人の一步は一人の百歩と同じ成果となる。全員が同じ方向を向いて努力することが大切であることを示している。しかし現実には、一人一人に温度差がある。能力も意欲も大きく違うのに、プロと違い公務員は給与に差がない。できる者により多くを求めるので、時には不満や不協和音も生じる。前向きにがんばる者と後ろ向きな者に対して、教育委員会には人事も含め、信賞必罰で臨んでもらいたい。子どもたちや市民のために正しく教育や教育行政が進められるよう、今後とも指導力を発揮していただきたい。